

青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 定住・移住に関する意識調査【転入者】 結果報告書

### 目次

1. アンケート概要.....	1
2. アンケート結果.....	1
1. 基本属性.....	1
2. 転入理由、青梅市の住みやすさについて.....	8
3. 性別・年代別での分析.....	14
4. 地域別での分析.....	23

## 1. アンケート概要

- 調査期間:平成27(2015)年7月30日(木)～8月10日(月)
- 対象者:平成25(2013)年4月1日以降に青梅市に転入した男女1,000名  
(住民基本台帳より無作為抽出)
- 設問数:13問(枝番含まず)
- 回答数:353名
- 回答率:35.1%

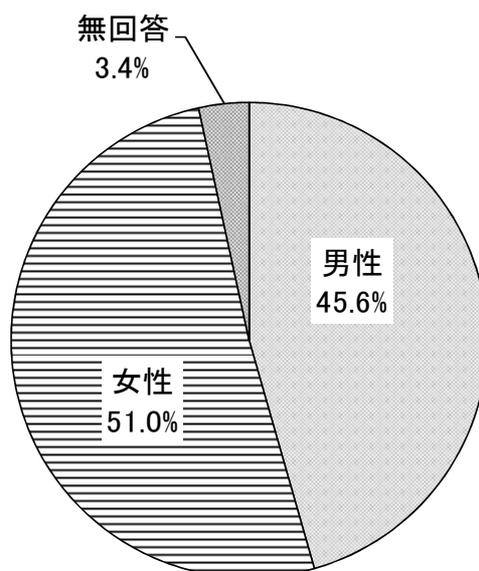
## 2. アンケート結果

### 1. 基本属性

問1 性別(○は1つだけ)

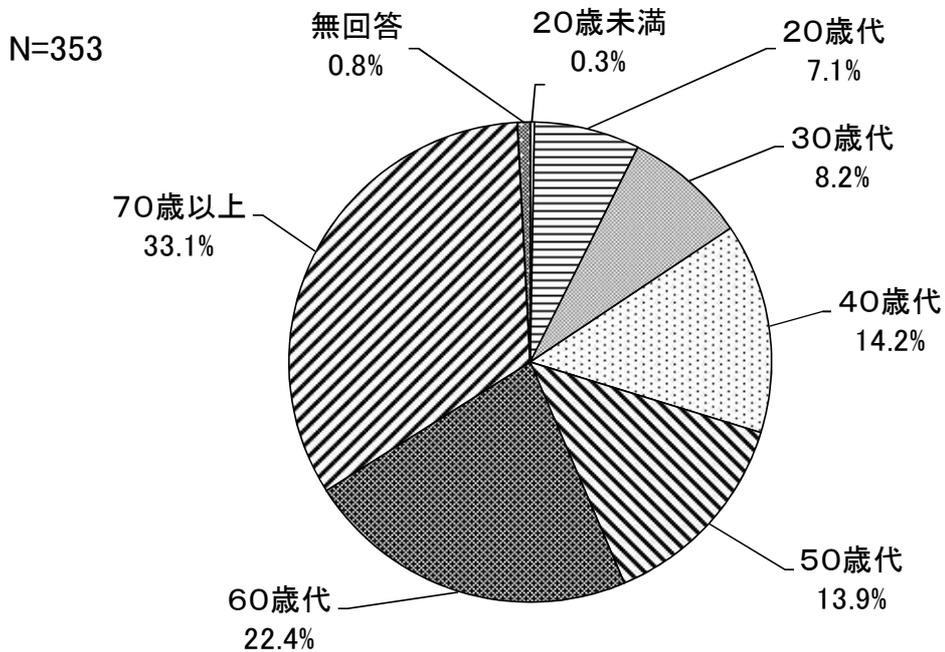
「男性」は45.6%、「女性」は51.0%です。

N=353



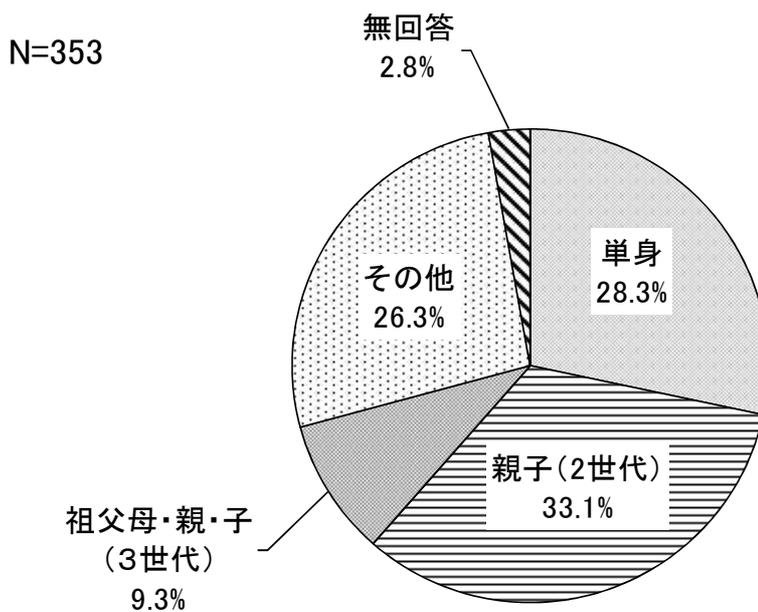
問2 年齢(○は1つだけ)

「70歳代」が33.1%で最も多く、次いで「60歳代」が22.4%、「40歳代」が14.2%、「50歳代」が13.9%で続きます。



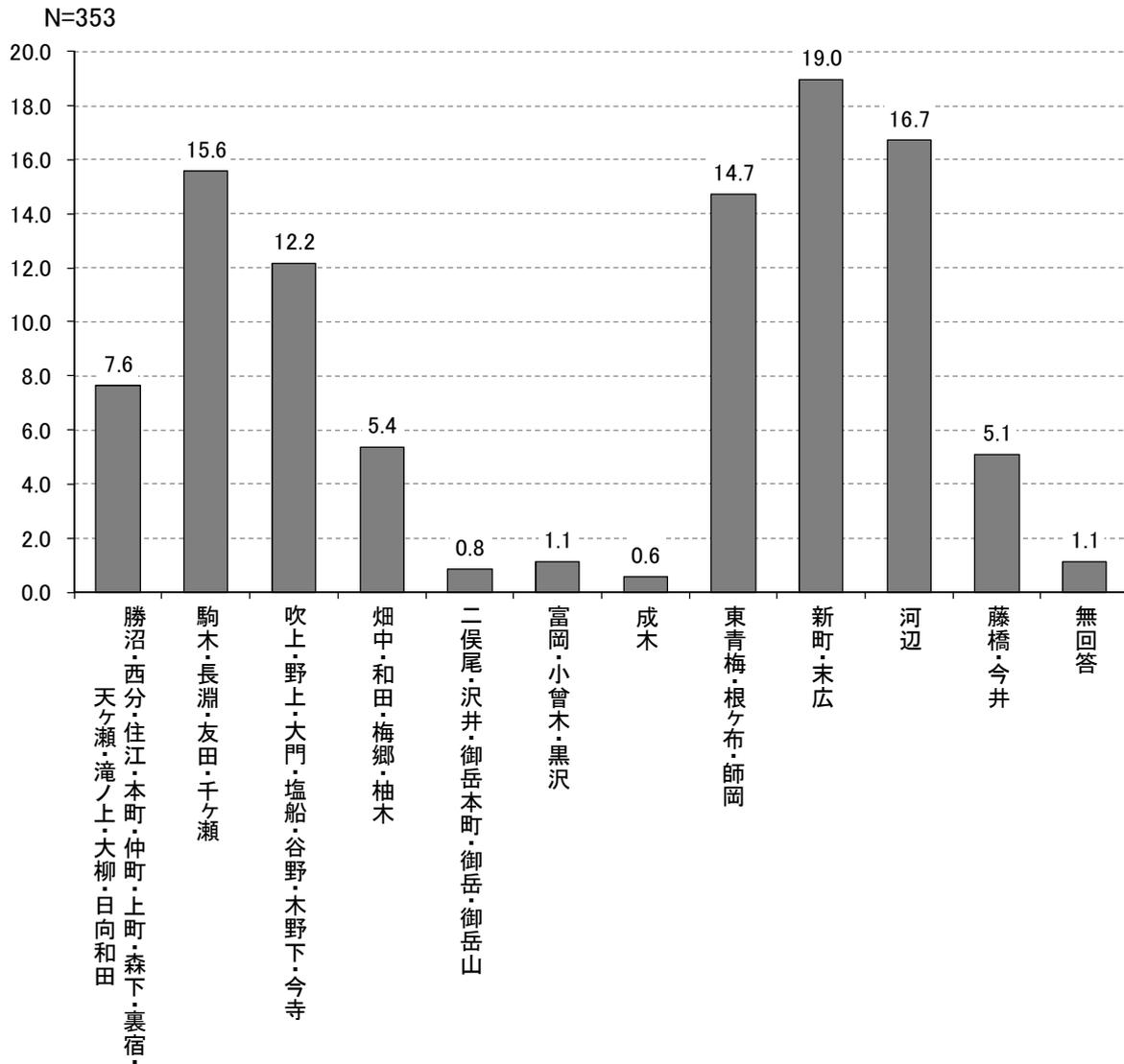
問3 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

「親子(2世代)」が33.1%で最も多く、次いで「単身」が28.3%、「祖父母・親・子(3世代)」が9.3%で続きます。



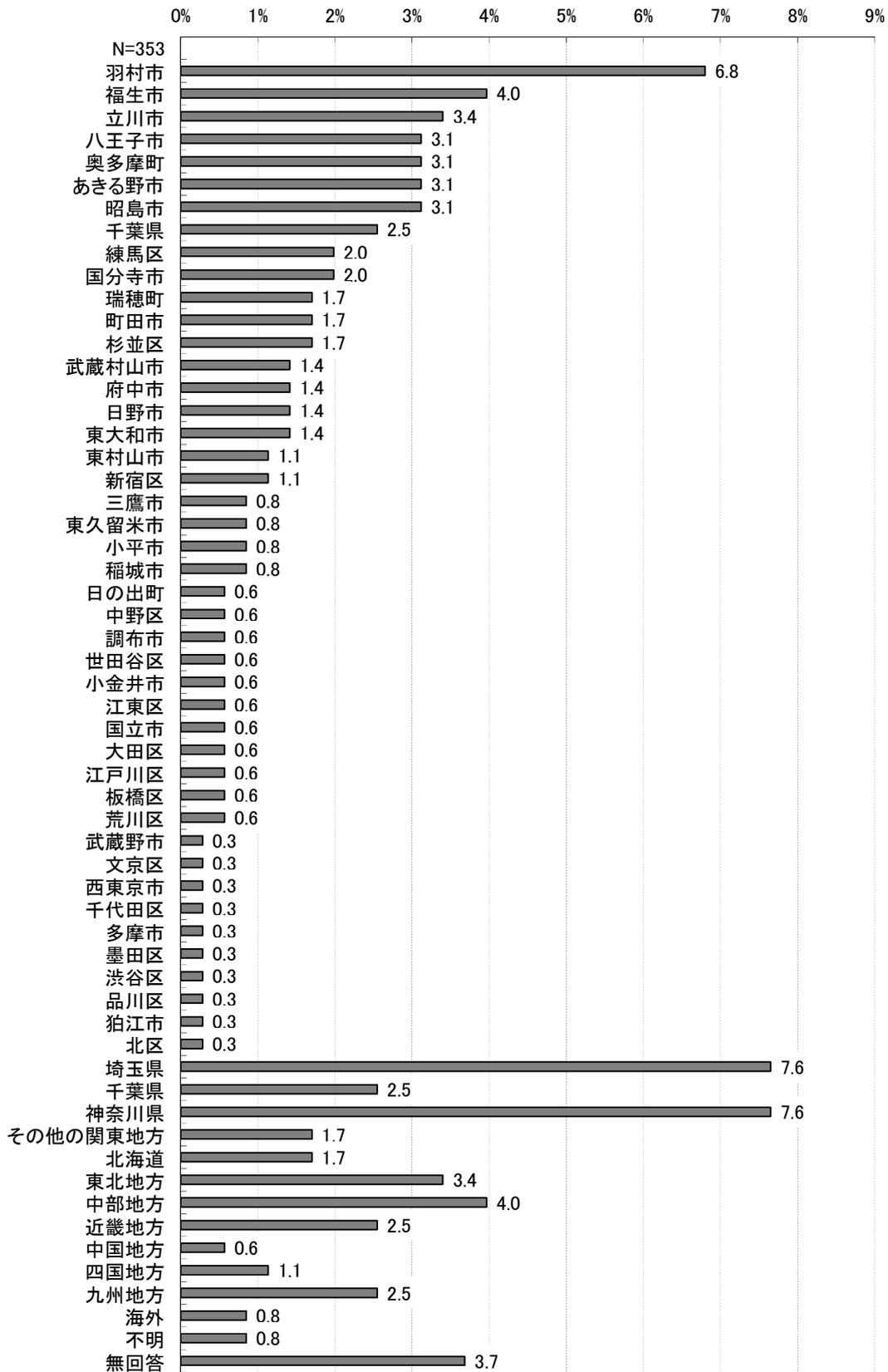
問4 現在お住まいの地域(ご住所)は次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

「新町・広末」が19.0%で最も多く、次いで「河辺」が16.7%、「駒木・長淵・友田・千ヶ瀬」が15.6%、「東青梅・根ヶ布・師岡」が14.7%で続きます。



問5 青梅市に転入する前の住所はどちらになりますか。(自治体名を記入ください)

「羽村市」が6.8%で最も多く、次いで「福生市」が4.0%、「立川市」が3.4%で続きます。

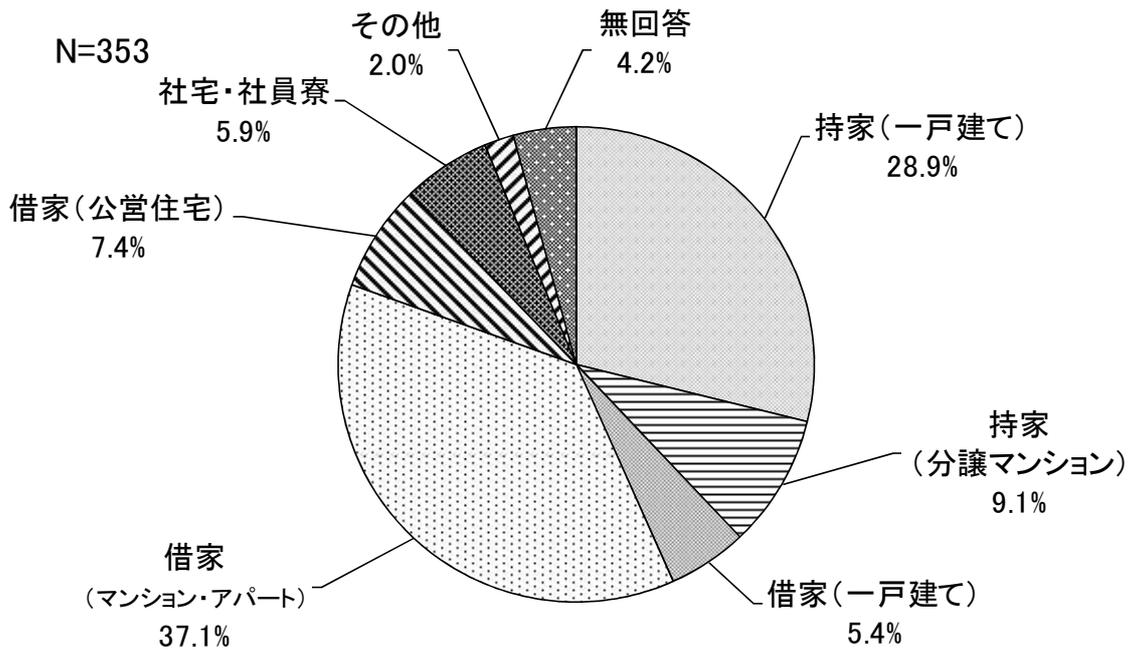


問6 転入前後のお住まい(住居)は次のどれにあてはまりますか。  
(それぞれに○は1つだけ)

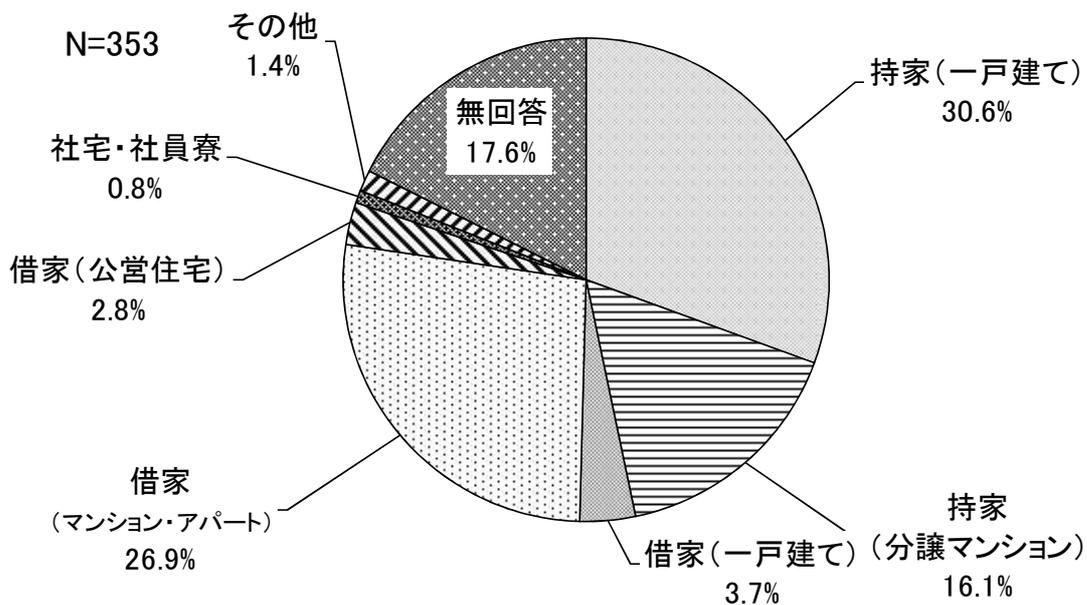
転入前では「借家(マンション・アパート)」が37.1%で最も多く、次いで「持家(一戸建て)」が28.9%、「持家(分譲マンション)」が9.1%で続きます。

転入後では「持家(一戸建て)」が30.6%で最も多く、次いで「借家(マンション・アパート)」が26.9%、「持家(分譲マンション)」が16.1%で続きます。

(転入前)

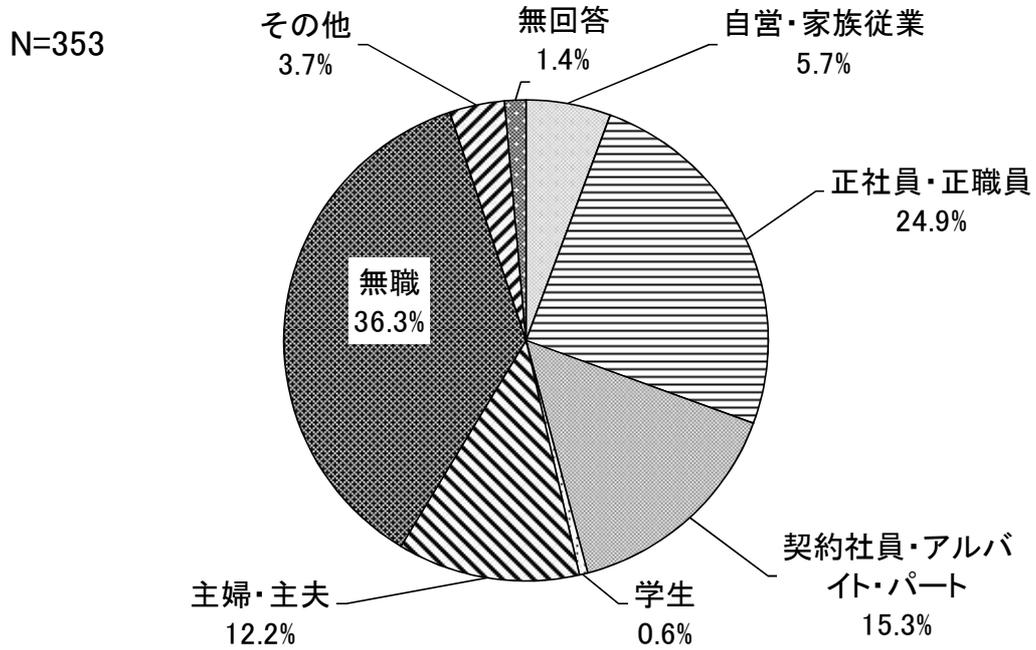


(転入後)



問7 職業は次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

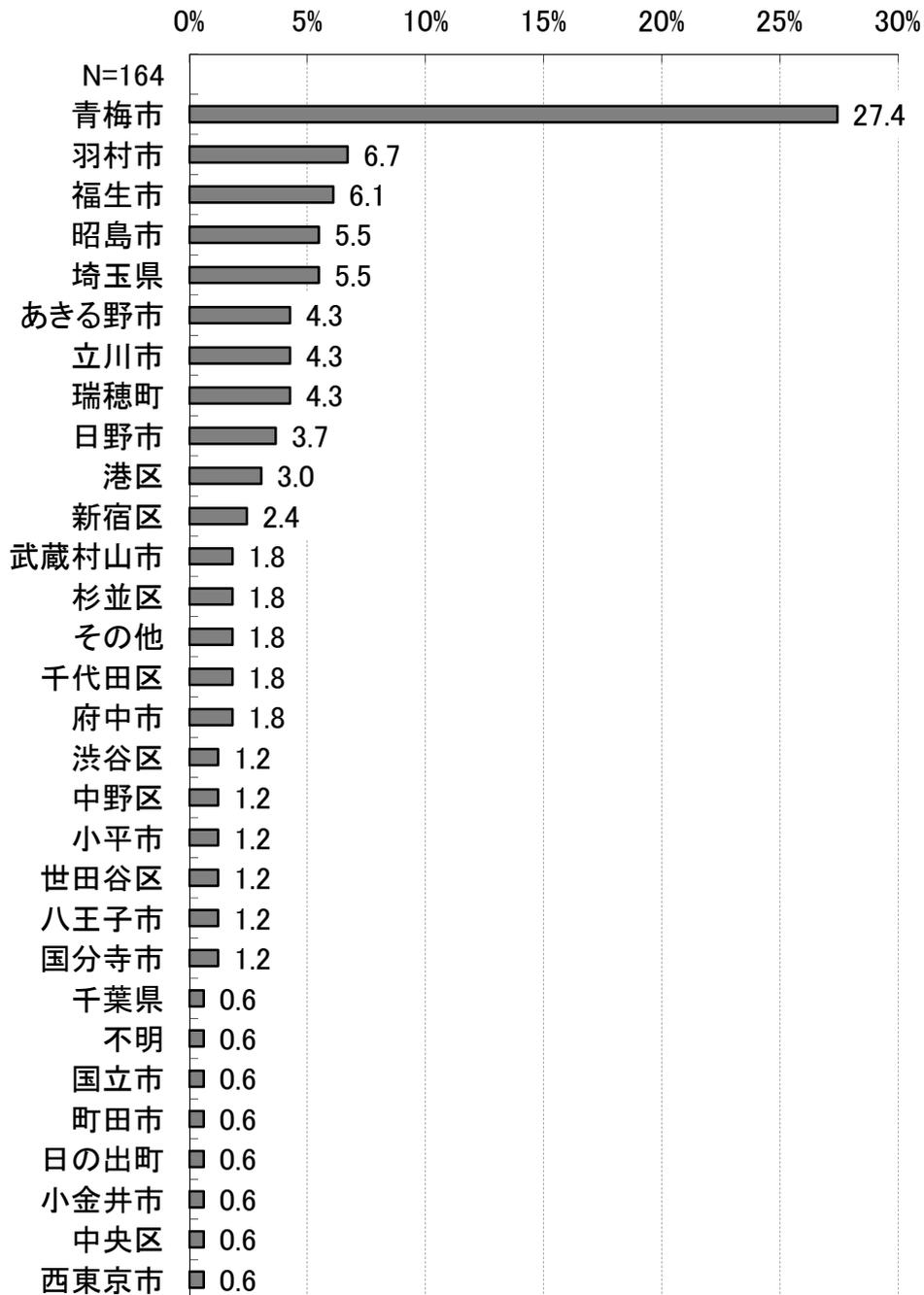
「無職」が36.3%で最も多く、次いで「正社員・正職員」が24.9%、「契約社員・アルバイト・パート」が15.3%で続きます。



問7-1 (問7で「自営業・家族従業」「正社員・正職員」「契約社員・アルバイト・パート」「学生」と選択した164名の方が回答しています)

どちらまで通勤・通学されていますか。(自治体名を記入ください)

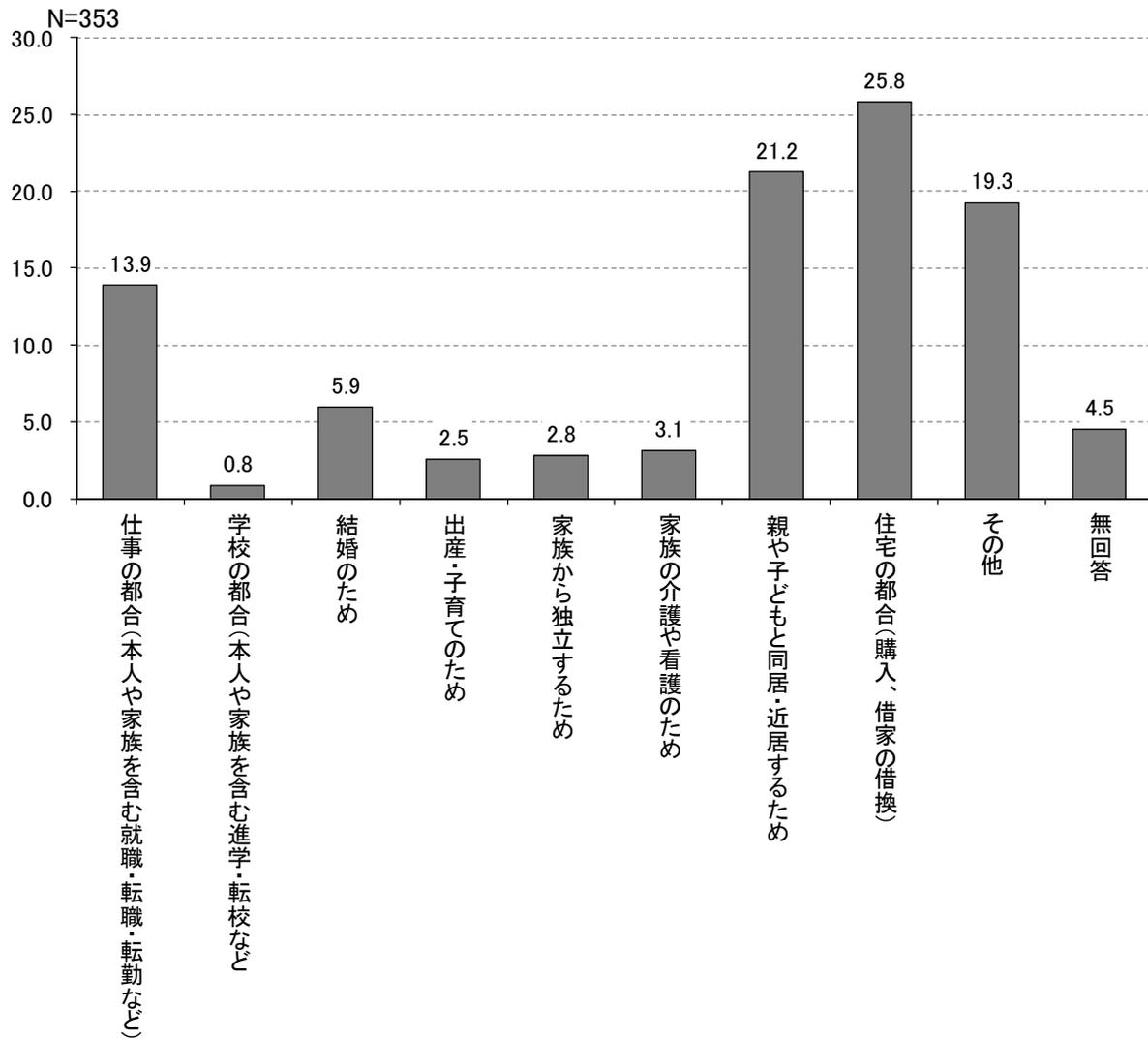
「青梅市」が27.4%で最も多く、次いで「羽村市」が3.2%、「昭島市」が2.9%、「福生市」が2.8%で続きます。



## 2. 転入理由、青梅市の住みやすさについて

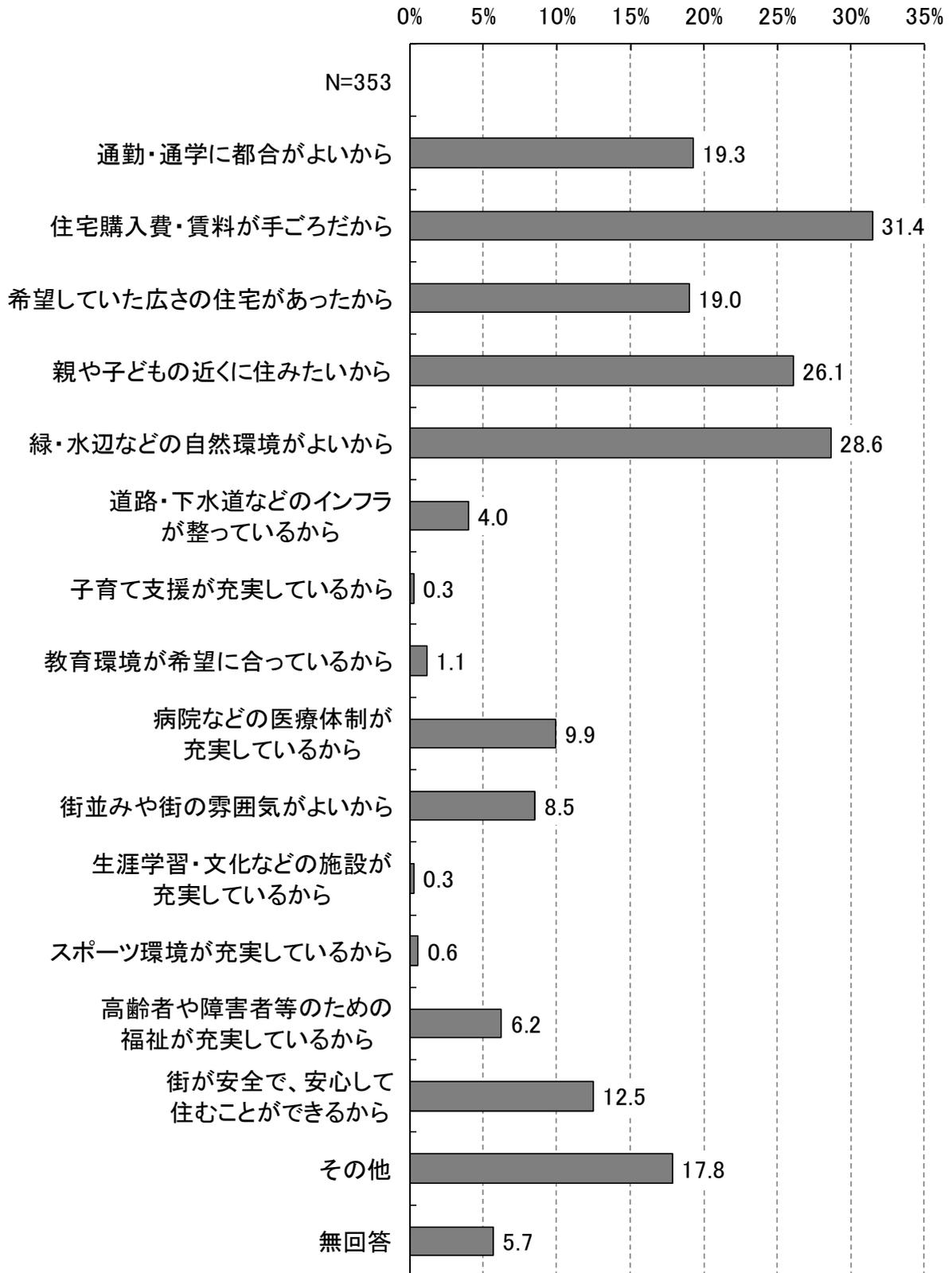
問8 青梅市に転入した主な理由は何ですか。(〇は1つだけ)

「住宅の都合(購入・借家の借換)」が25.8%で最も多く、次いで「親や子どもと同居・近居するため」が21.2%、「仕事の都合(本人や家族を含む就職・転職・転勤など)」が13.9%で続きます。



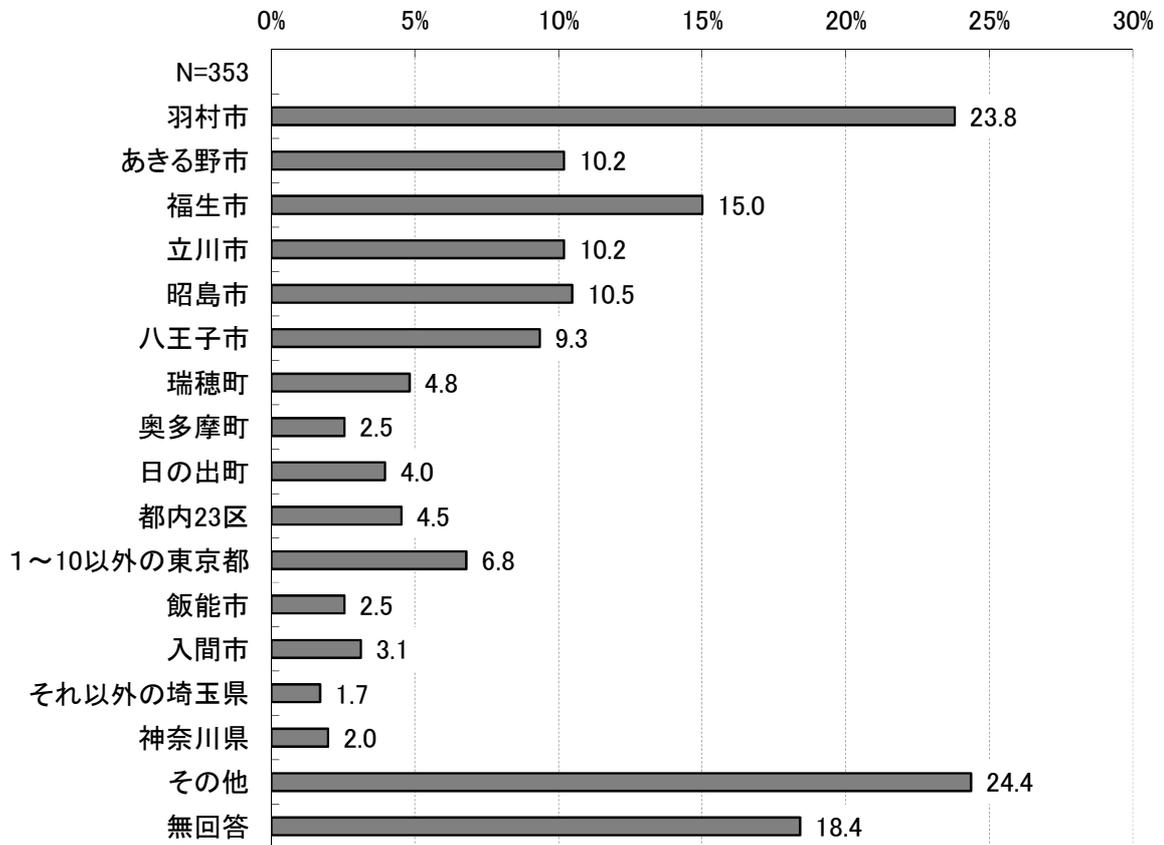
問9 青梅市を選択するにあたり重視した点は何ですか。(〇は3つまで)

「住宅購入費・賃料が手ごろだから」が31.4%で最も多く、次いで「緑・水辺などの自然環境がよいから」が28.6%、「親や子どもの近くに住みたいから」が26.1%で続きます。



問10 引っ越し先を選択する際、青梅市以外にどの自治体が候補に挙がりましたか。  
 (〇はあてはまるものすべて)

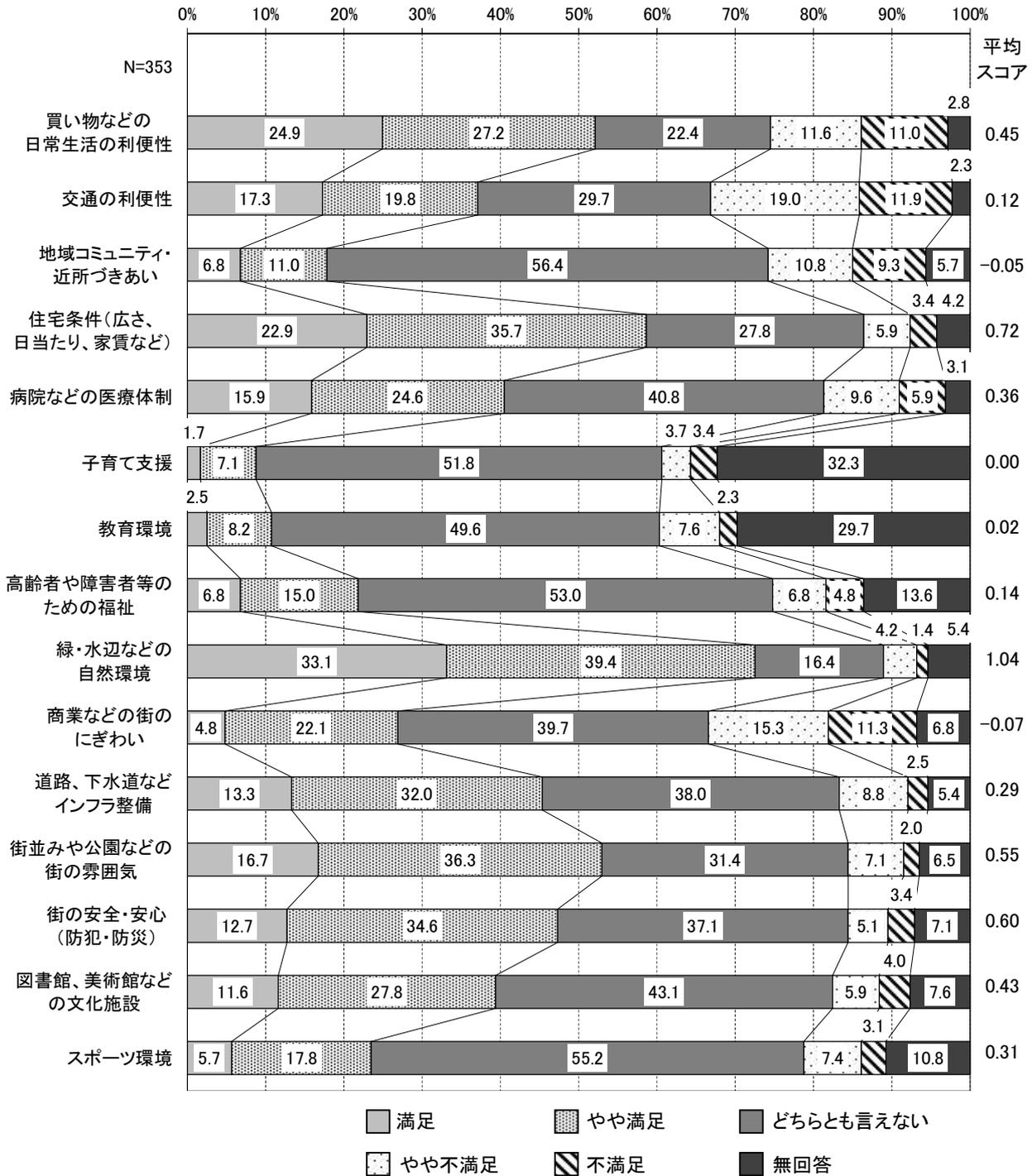
「羽村市」が23.8%で最も多く、次いで「福生市」が15.0%、「昭島市」が10.5%、「あきる野市」「立川市」が10.2%で続きます。



問11 青梅市にお住まいになって、次の項目についてどのように思っていますか。

(○は各項目で1つだけ)

「買い物などの日常生活の利便性」と「住宅条件(広さ、日当たり、家賃など)」「緑・水辺などの自然環境」「街並みや公園などの街の雰囲気」は「満足」「やや満足」の合計が5割を超えています。平均スコア<sup>1</sup>では、総じてプラスになっていますが、「商業などの街のにぎわい」が-0.07、「地域コミュニティ・近所づきあい」が-0.05となっています。

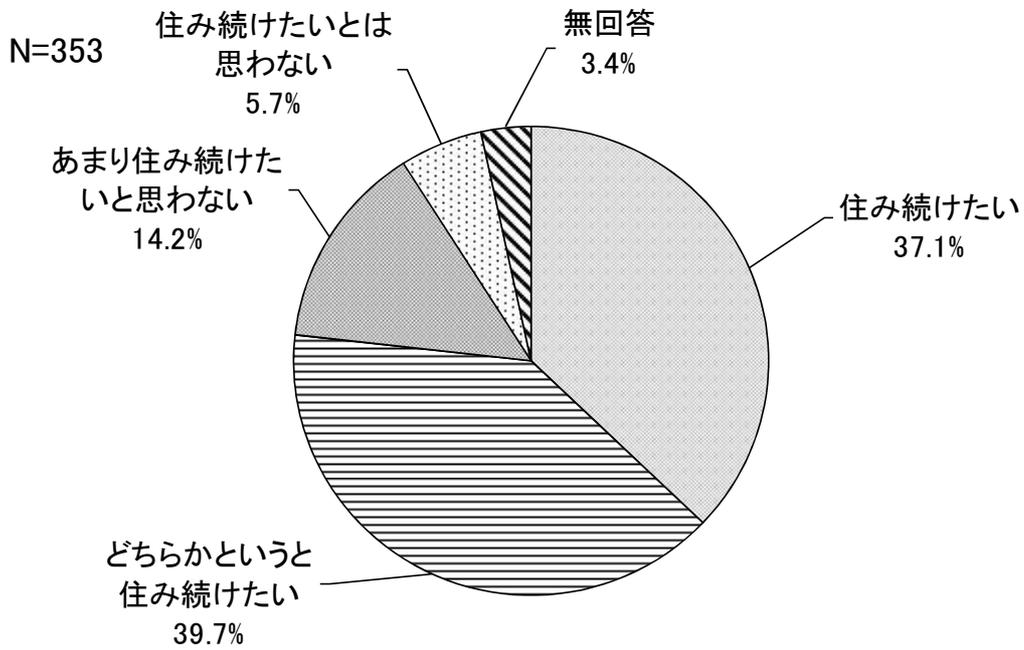


<sup>1</sup> 平均スコアの算出方法は、{(満足を選んだ人数)×2点+(やや満足)×1点-(やや不満足)×1点-(不満足)×2点}÷(総数-無回答の人数)です。「どちらとも言えない」をのぞき、4つの選択肢の回答者数を加味した平均値を算出できます。



問12 将来的に、青梅市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

「どちらかというに住み続けたい」が39.7%で最も多く、次いで「住み続けたい」が37.1%で続きます。それぞれの合計は76.8%であり、7割以上の人が青梅市に住み続けたいと思っています。

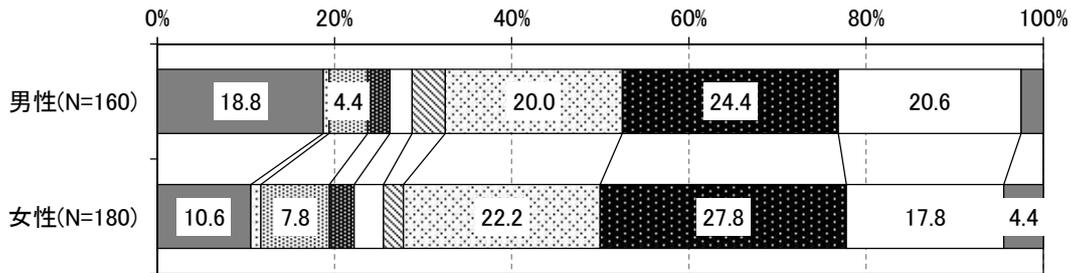


### 3. 性別・年代別での分析

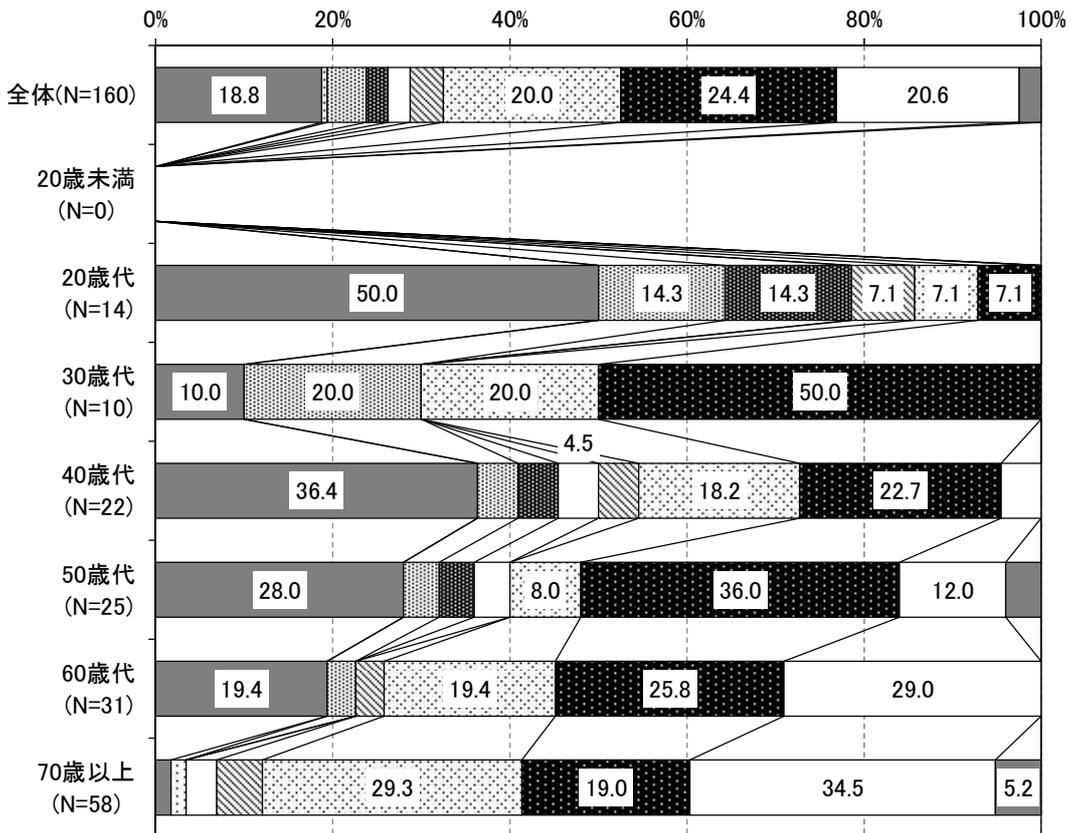
#### 問8 青梅市に転入した主な理由は何ですか。(〇は1つだけ)

性別にみると、男性では女性よりも「仕事の都合(本人や家族を含む就職・転職・転勤など)」が多いです。

男性の「仕事の都合(本人や家族を含む就職・転職・転勤など)」は20歳代で特に多く、次に40歳代が多いです。30歳代では「結婚のため」「住宅の都合(購入、借家の借換)」も特に多いです。50歳代を超えると、年齢が上がるにつれて「親や子どもと同居・近居するため」が増えます。



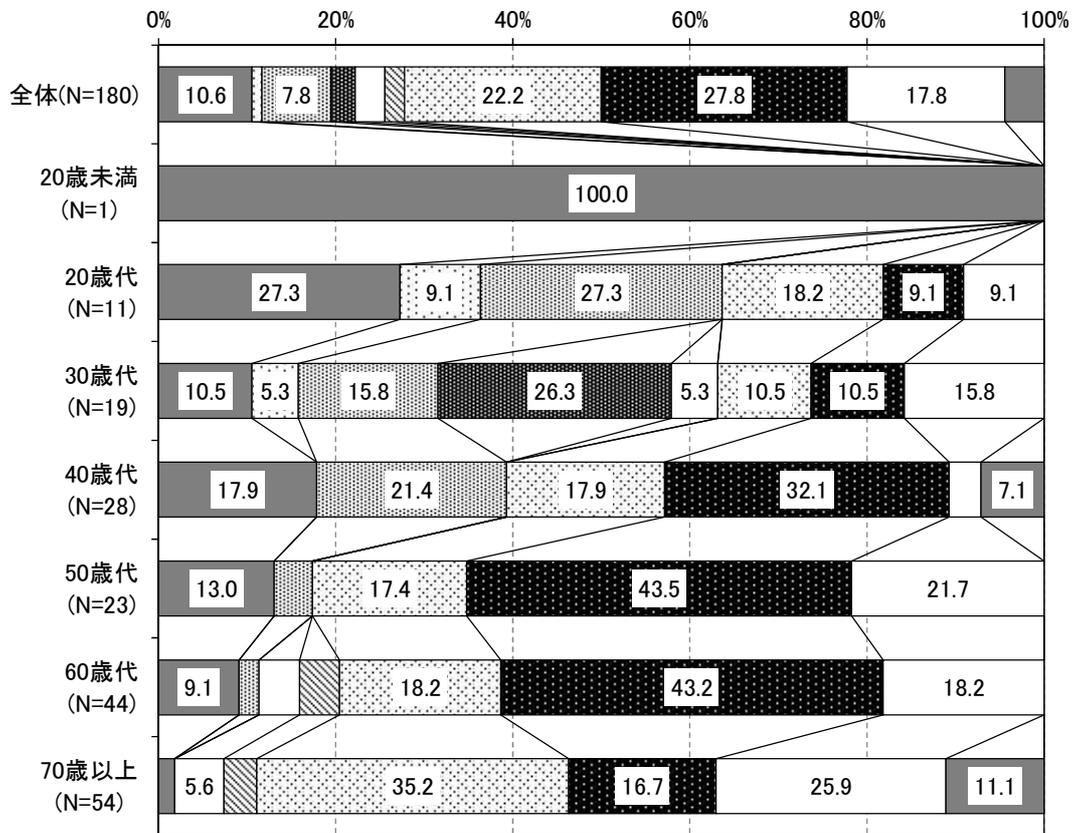
【性別でみた主な転入理由】



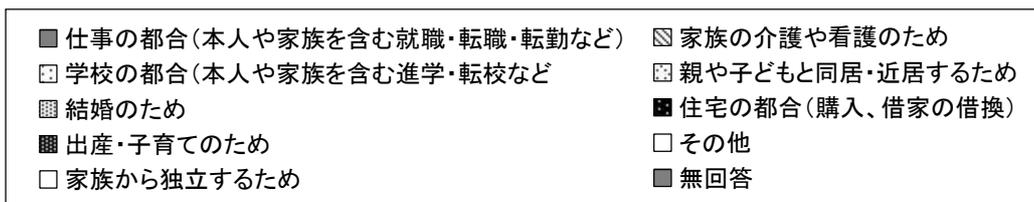
【男性:年代別にみた主な転入理由】

- 仕事の都合(本人や家族を含む就職・転職・転勤など)
- 学校の都合(本人や家族を含む進学・転校など)
- ▨ 結婚のため
- 出産・子育てのため
- 家族から独立するため
- ▨ 家族の介護や看護のため
- ▨ 親や子どもと同居・近居するため
- 住宅の都合(購入、借家の借換)
- その他
- 無回答

女性については、20歳代で「仕事の都合(本人や家族を含む就職・転職・転勤など)」「結婚のため」が多く、30歳代では「出産・子育て」が多いです。「住宅の都合(購入、借家の借換)」は40～60歳代で3～4割と他の世代よりも多いです。

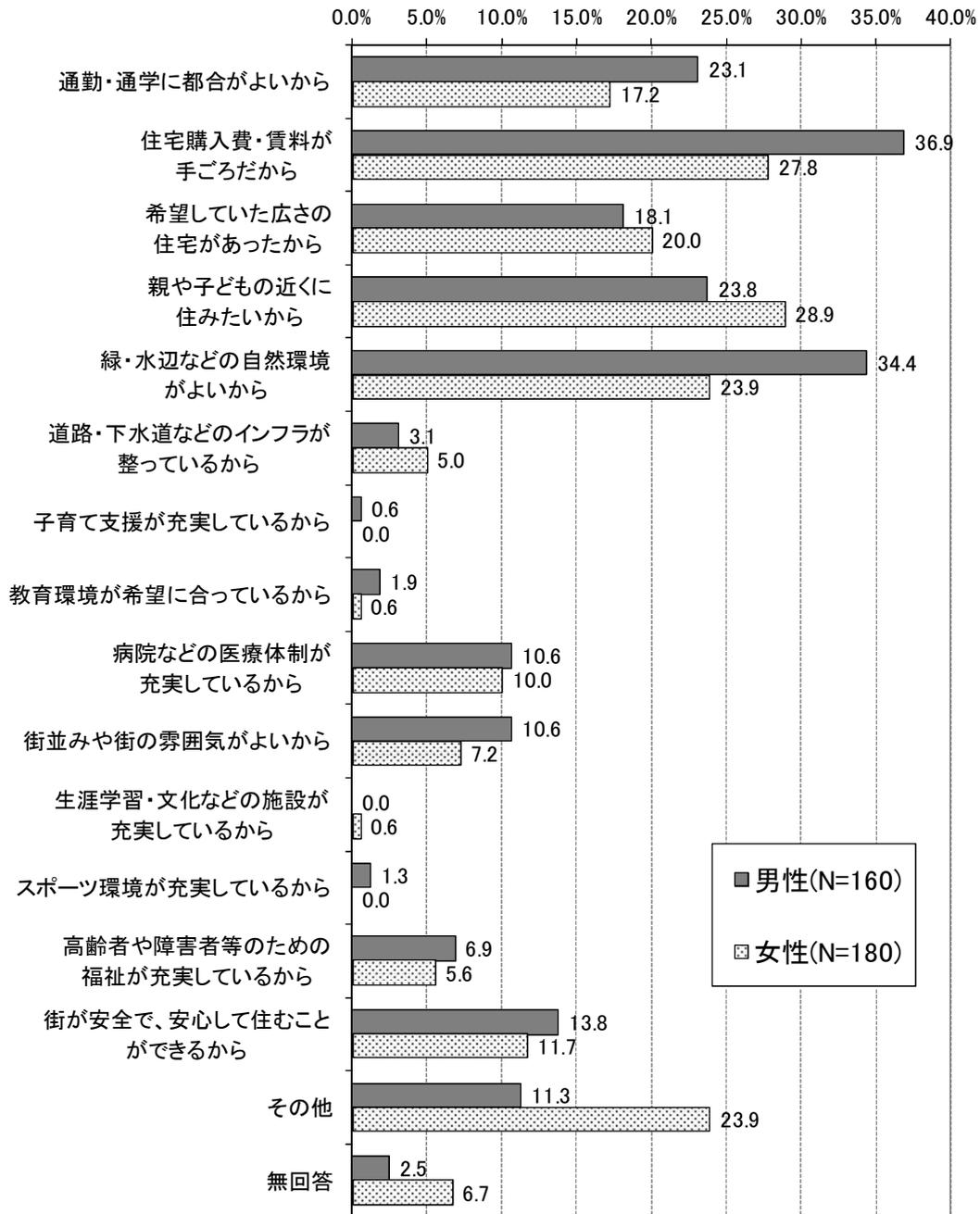


【女性：年代別にみた主な転入理由】



問9 青梅市を選択するにあたり重視した点は何ですか。(〇は3つまで)

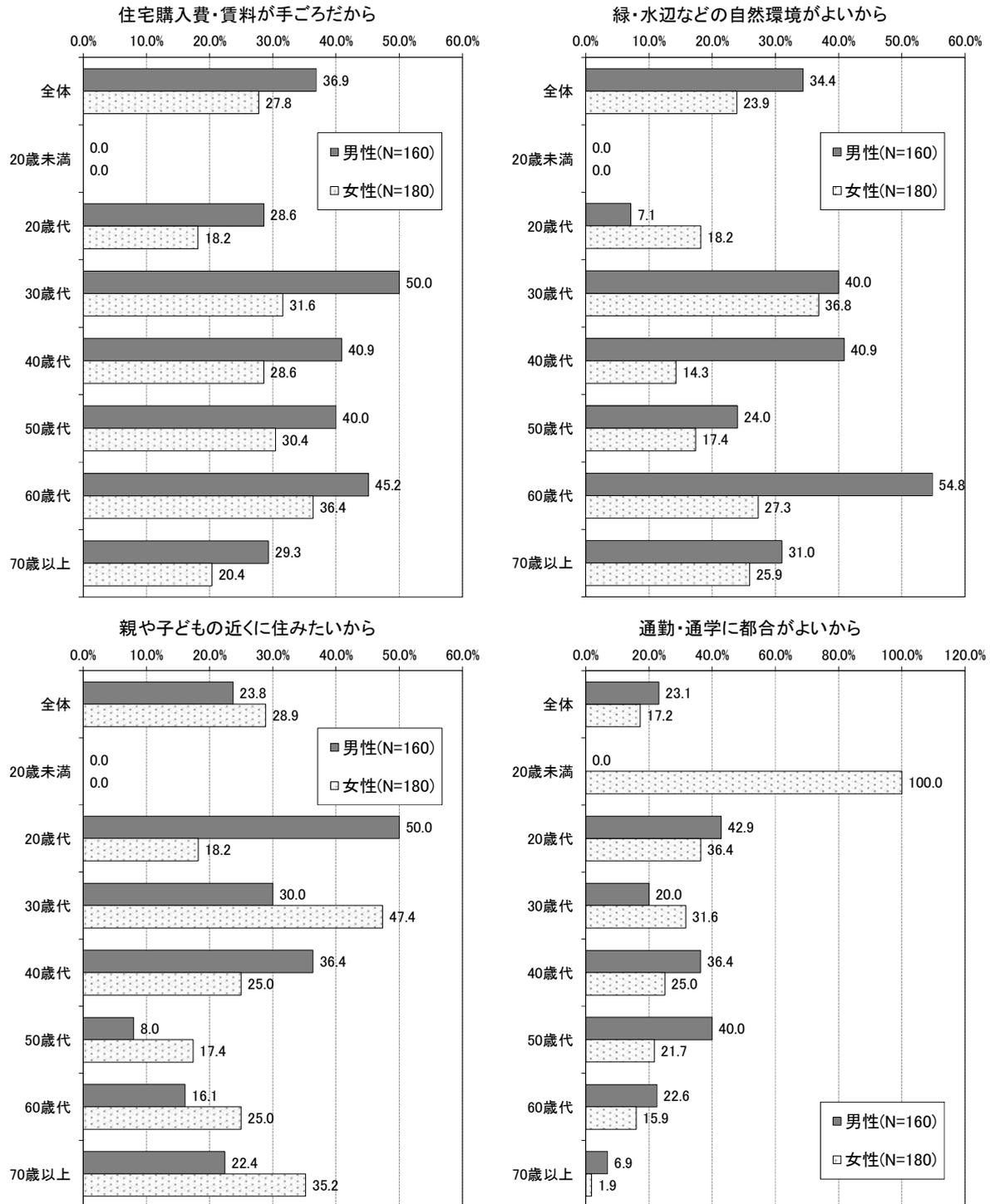
性別でみると、男性の方が「住宅購入費・賃料が手ごろだったから」「緑・水辺などの自然環境がよいから」が女性よりも約10%多いです。女性に関しては、「親や子どもの近くに住みたいから」が男性よりも5%程度多いです。



【性別でみた青梅市を選んだ理由】

全体の上位4項目について性別・年齢別に比較したところ、「住宅購入費・賃料が手ごろだから」では男性の方が女性より多く、特に男性30歳代・60歳代が多いです。「緑・水辺などの自然環境がよいから」も男性の方が多く、特に60歳代が多いです。

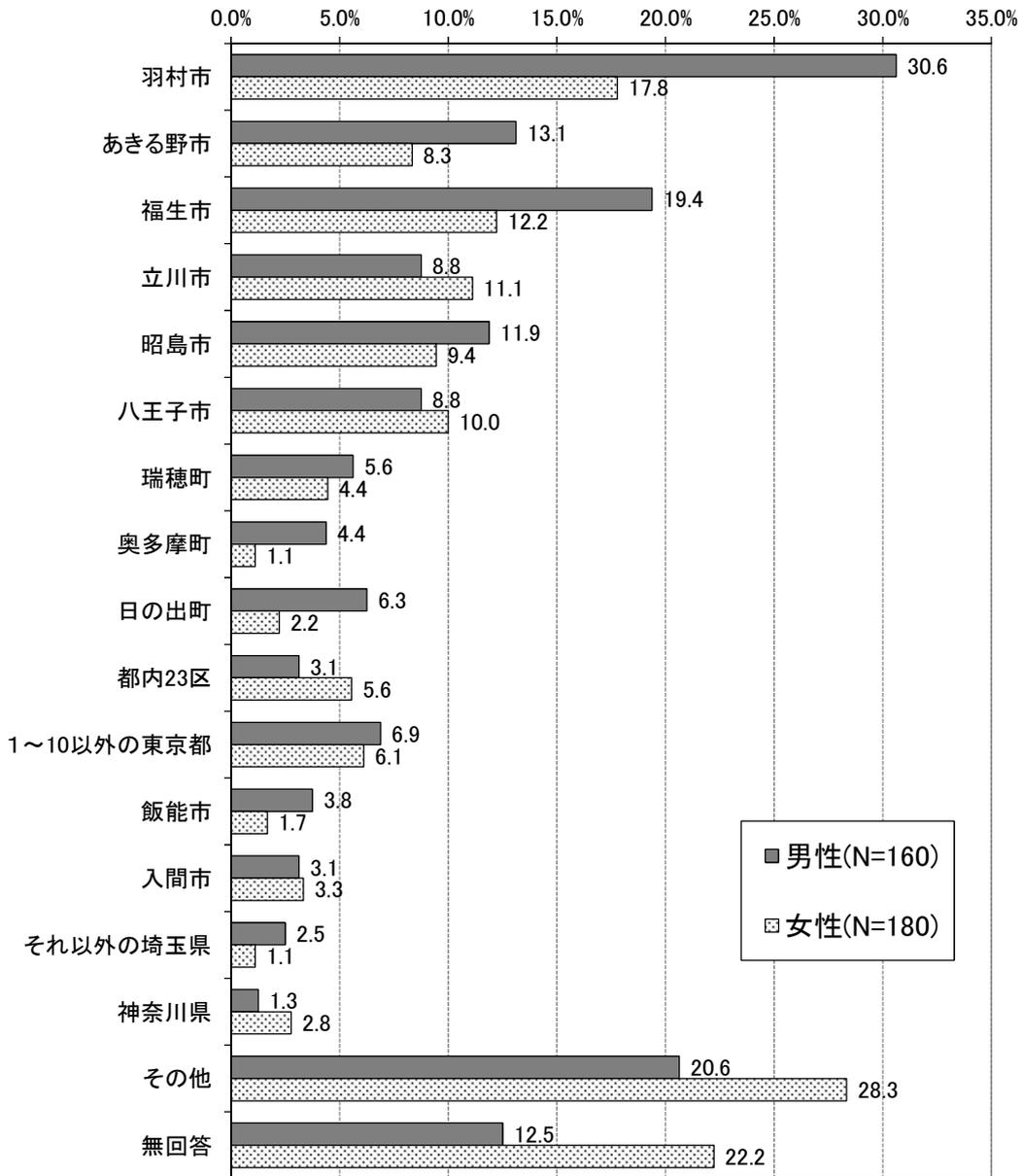
「親や子どもの近くに住みたいから」は女性の方が男性より多いです。年代別にみると、男性の20歳代・女性の30歳代で他の世代よりも多いです。「通勤・通学に都合がよいから」は男性の方が女性よりも多く、特に男性の30～40歳代が多いほか、女性の30歳代も多いです。



【性別・年代別にみた青梅市を選んだ理由(上位4項目)】

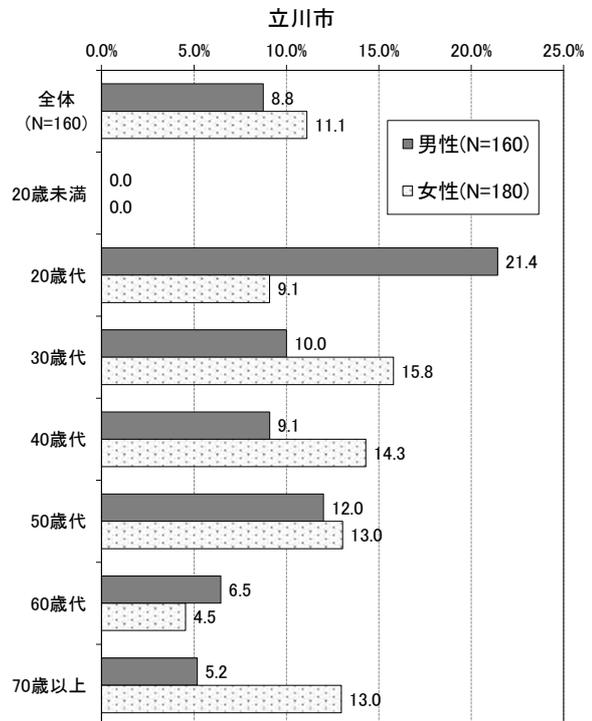
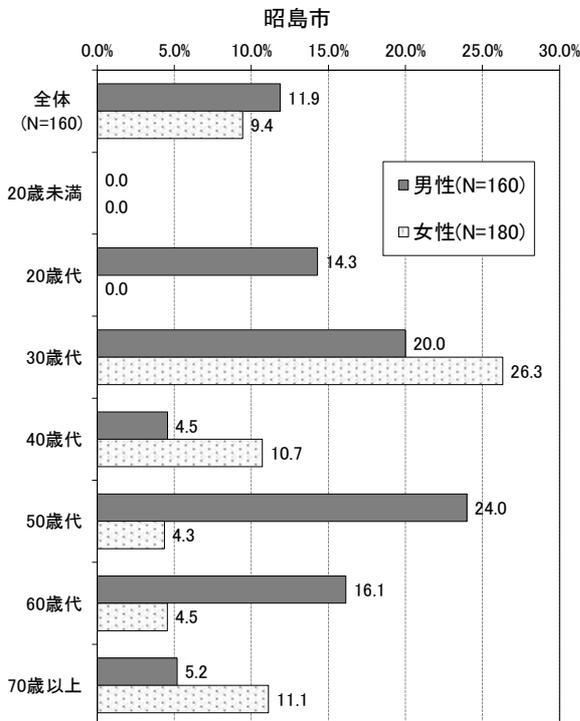
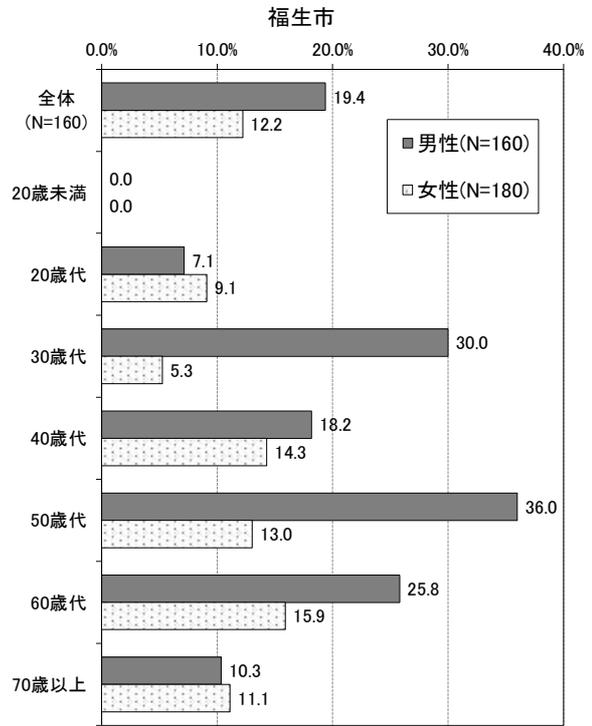
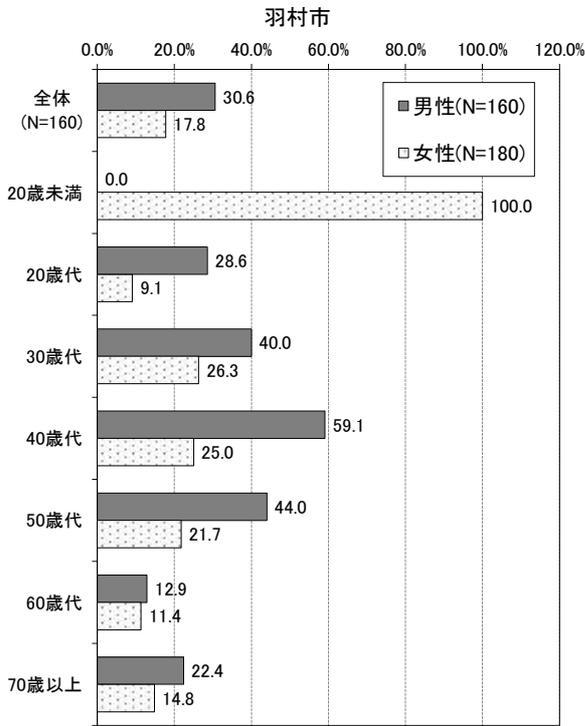
問10 引っ越し先を選択する際、青梅市以外にどの自治体が候補に挙がりましたか。  
 (〇はあてはまるものすべて)

性別で見ると、男性では「羽村市」「あきる野市」「福生市」「奥多摩町」「日の出町」で女性よりも多  
 いです。一方、女性では「立川市」「都内23区」が多いです。



【性別でみた青梅市以外に検討した転居先(上位4項目)】

全体の上位4項目について性別・年齢別に比較したところ、「羽村市」では男性40歳代が多く、「福生市」「昭島市」では男性の50歳代が多いです。「昭島市」では、30歳代で男性よりも女性が多いです。「立川市」では、30～50歳代で女性の方が男性よりも多いです。



【性別・年代別にみた青梅市以外に検討した転居先(上位4項目)】

問11 青梅市にお住まいになって、次の項目についてどのように思っていますか。

(○は各項目で1つだけ)

各項目の平均スコアを性別にみると、「街の安全・安心(防犯・防災)」「図書館・美術館などの文化施設」において女性の方が男性よりもスコアが高いです。

性別・年齢別にみると、「子育て支援」「教育環境」「高齢者や障害者等のための福祉」といった特定の世代が当事者になる項目においても年齢によるばらつきが少ないことが分かります。

項目	買い物などの日常生活の利便性		交通の利便性		地域コミュニティ・近所づきあい		住宅条件(広さ・日当たり・家賃など)		病院などの医療体制	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全体	0.24	0.25	-0.02	-0.08	-0.03	0.09	0.37	0.44	0.12	0.18
20歳未満	-	0.00	-	-0.50	-	0.00	-	-0.50	-	0.50
20歳代	0.18	0.45	-0.29	0.05	-0.07	0.14	0.29	0.62	0.11	0.14
30歳代	0.05	0.13	-0.10	-0.18	-0.15	0.05	0.35	0.32	0.05	0.21
40歳代	0.37	0.27	0.18	-0.05	0.05	0.11	0.43	0.50	0.16	0.16
50歳代	0.32	-0.02	0.22	-0.17	0.02	-0.07	0.39	0.35	0.16	0.00
60歳代	0.27	0.14	0.02	0.01	0.05	-0.08	0.44	0.33	0.16	0.10
70歳以上	0.36	0.12	0.28	0.10	0.06	-0.25	0.29	0.19	0.32	0.21

項目	子育て支援		教育環境		高齢者や障害者等のための福祉		緑・水辺などの自然環境		商業や工業などの産業	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全体	-0.02	0.02	-0.03	-0.02	-0.02	0.05	0.58	0.51	-0.05	-0.01
20歳未満	-	0.00	-	0.00	-	0.00	-	0.00	-	0.00
20歳代	0.00	0.30	0.07	0.23	0.00	0.18	0.71	0.55	0.04	-0.05
30歳代	-0.20	-0.13	-0.30	-0.03	-0.20	0.05	0.35	0.45	-0.25	0.13
40歳代	0.05	0.02	0.02	-0.12	0.05	0.00	0.59	0.55	-0.02	-0.09
50歳代	-0.08	-0.09	0.02	-0.12	0.10	-0.02	0.57	0.43	-0.08	-0.29
60歳代	0.06	-0.03	0.13	-0.04	0.19	0.05	0.60	0.47	-0.08	-0.09
70歳以上	0.06	0.00	0.11	-0.03	0.17	-0.02	0.55	0.35	0.09	0.01

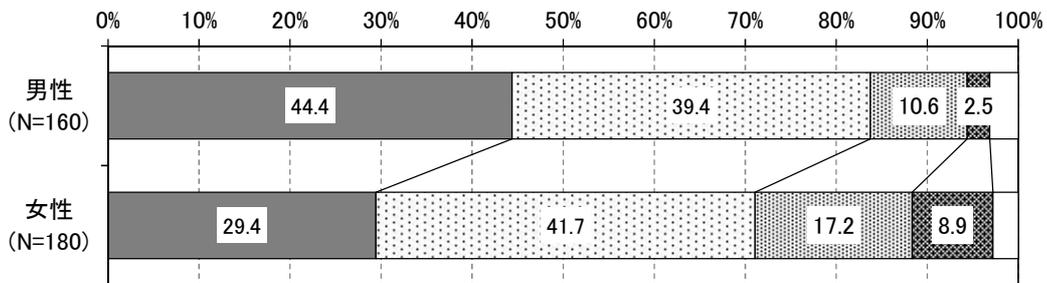
項目	道路・下水道などインフラ整備		街並みや公園などの街の雰囲気		街の安全・安心(防犯・防災)		図書館・美術館などの文化施設		スポーツ環境	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全体	0.16	0.20	0.29	0.39	0.09	0.21	0.09	0.21	0.02	0.07
20歳未満	-	0.00	-	0.00	-	0.00	-	0.00	-	-1.00
20歳代	0.18	0.10	0.32	0.50	0.11	0.27	0.25	0.23	0.14	0.14
30歳代	0.05	0.13	0.05	0.41	-0.15	0.16	-0.15	0.35	-0.15	0.08
40歳代	0.21	0.29	0.39	0.36	0.19	0.22	0.09	0.11	0.02	0.07
50歳代	0.14	0.04	0.27	0.07	0.31	0.04	0.29	-0.13	0.21	-0.13
60歳代	0.16	0.20	0.29	0.19	0.37	0.22	0.32	0.14	0.18	0.05
70歳以上	0.42	0.27	0.49	0.21	0.43	0.24	0.31	0.15	0.18	0.01

【性別・年代別にみた各項目の平均スコア】

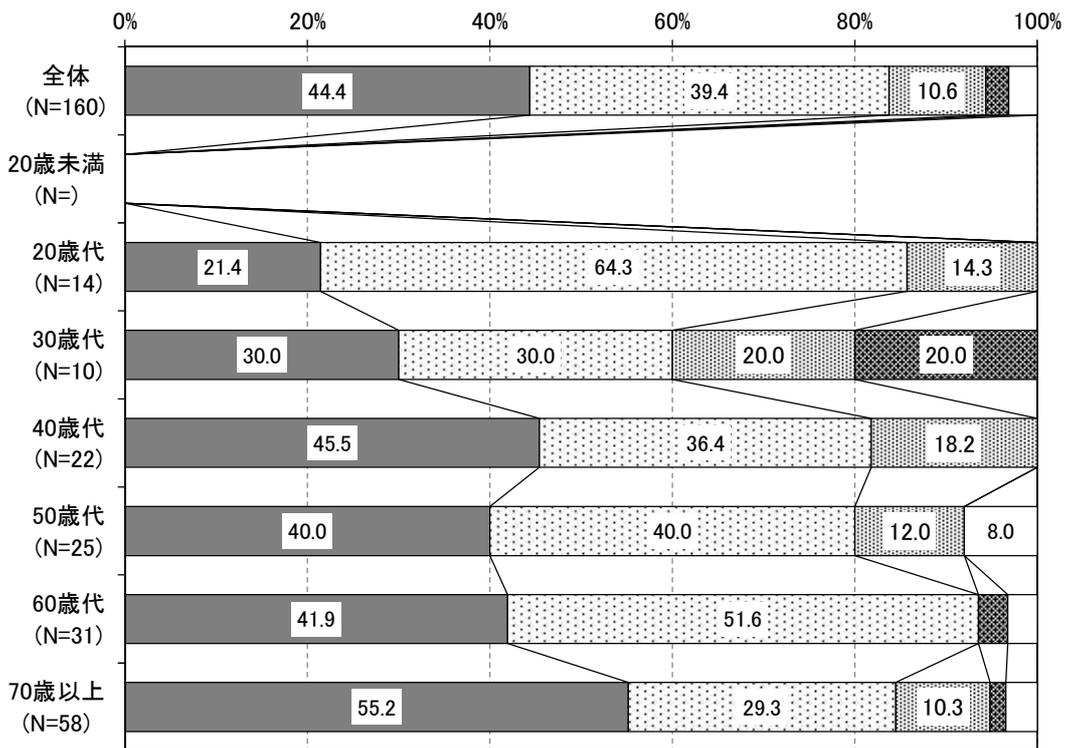
問12 将来的に、青梅市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

性別で見ると、男性の方が女性よりも「住み続けたい」が多く、「住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」の合計も多いです。

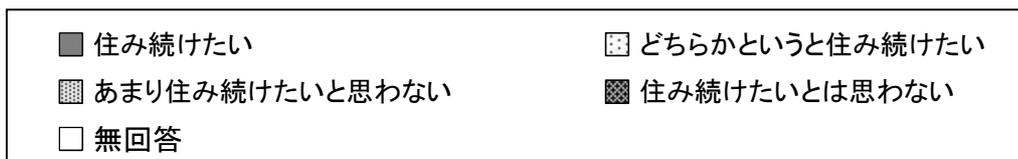
年代別にみると、男性に関しては、おおむね年齢が上がるにつれて「住み続けたい」が多くなりますが、40歳代は50歳代・60歳代よりも多いです。「どちらかというに住み続けたい」を合わせると、「20歳代」「60歳代」で多いです。また、



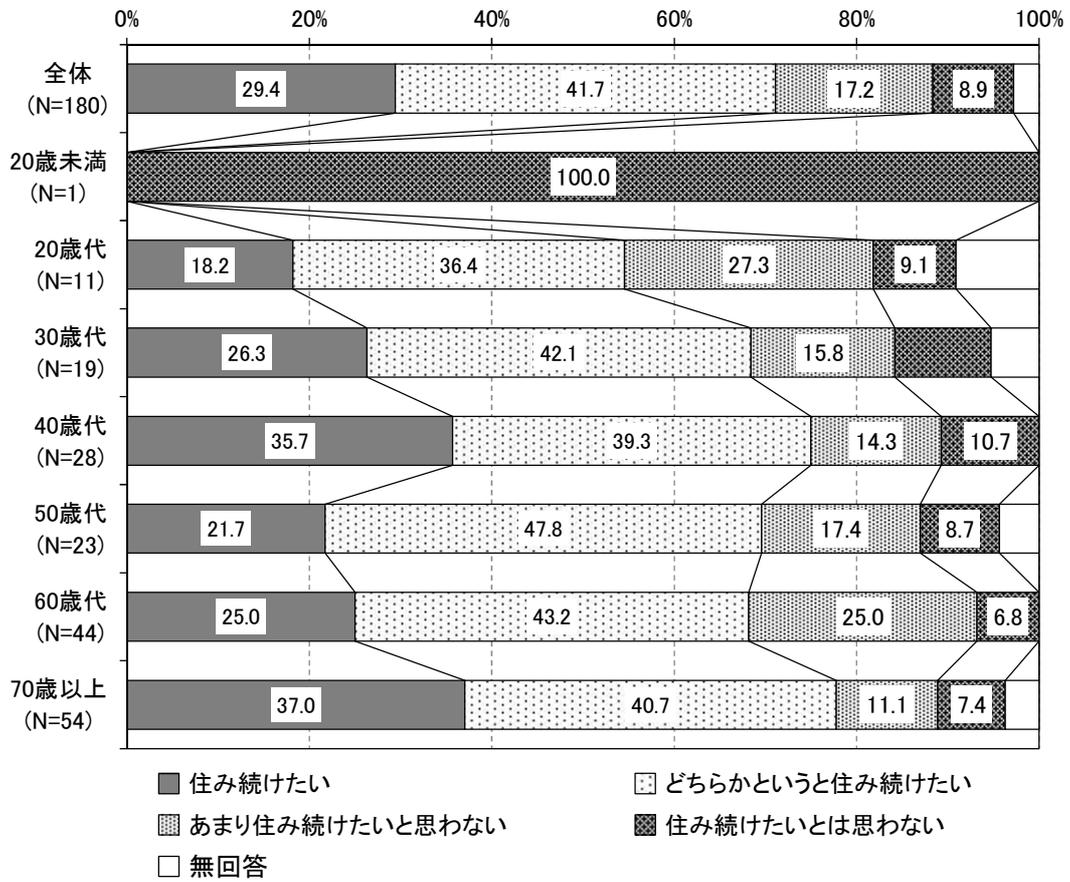
【性別でみた定住意向】



【男性:年代別にみた定住意向】



女性に関しては、40歳代・70歳代で「住み続けたい」が多いです。「どちらかというに住み続けたい」を合わせると、20～60歳代においては年齢が上がるにつれて多くなります。

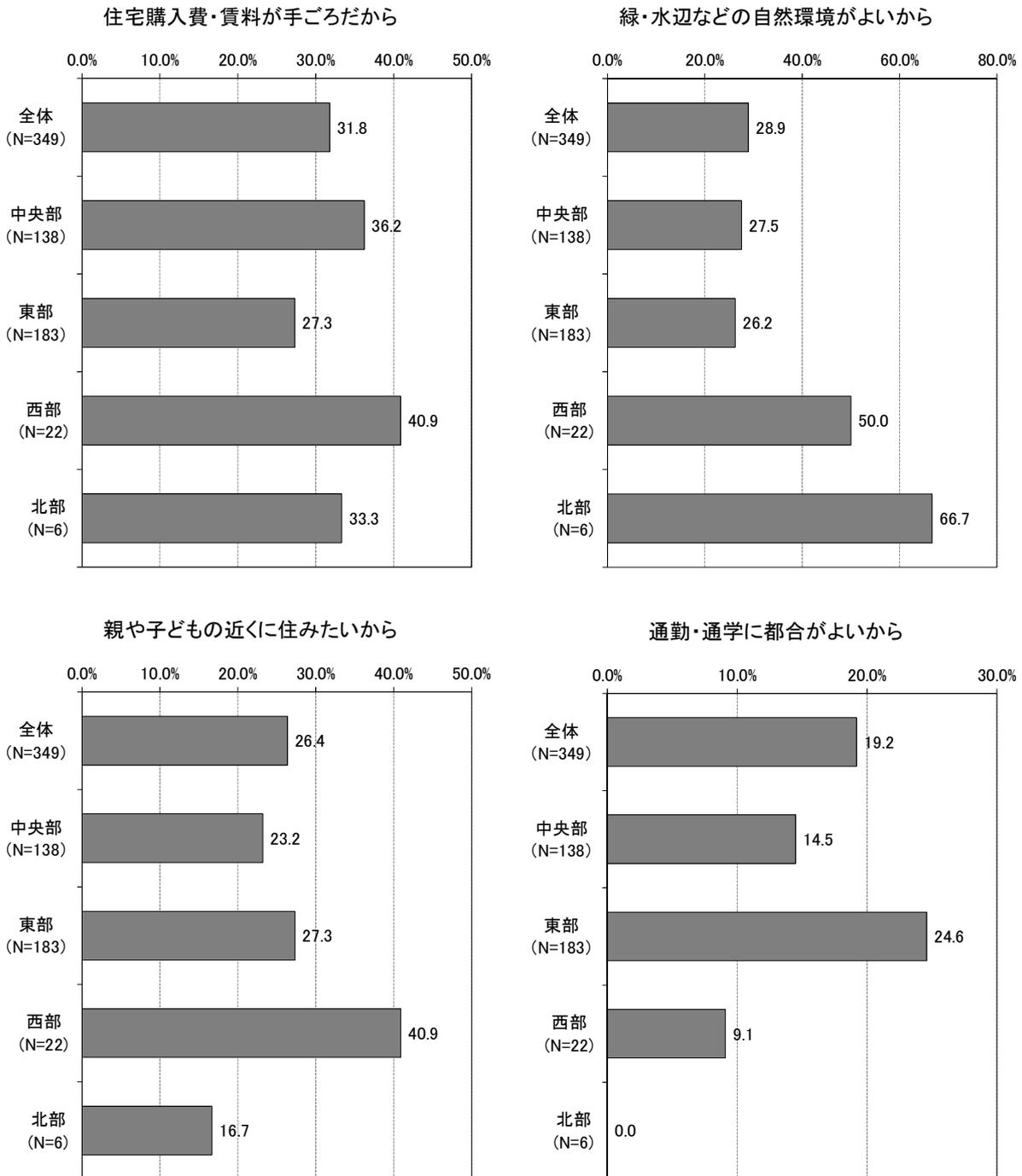


【女性：年代別にみた定住意向】

## 4. 地域別での分析

### 問9 青梅市を選択するにあたり重視した点は何ですか。(〇は3つまで)

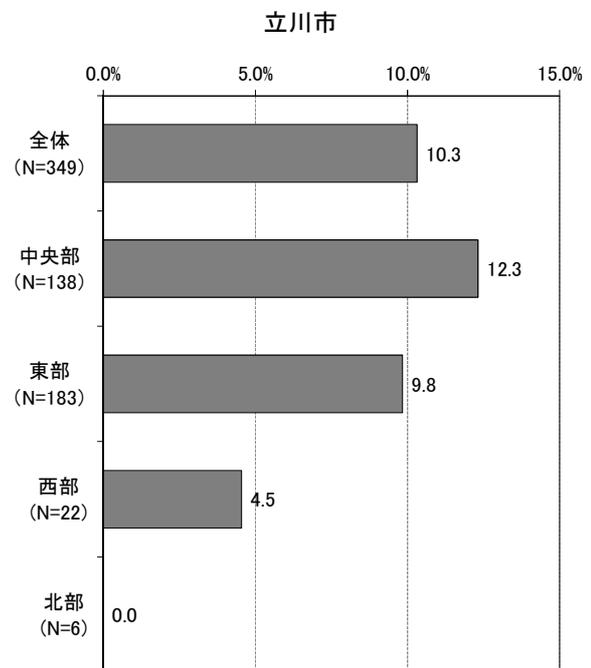
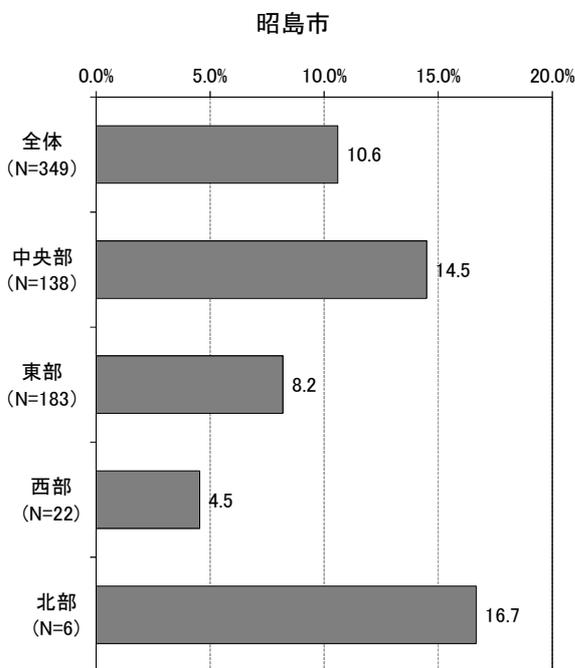
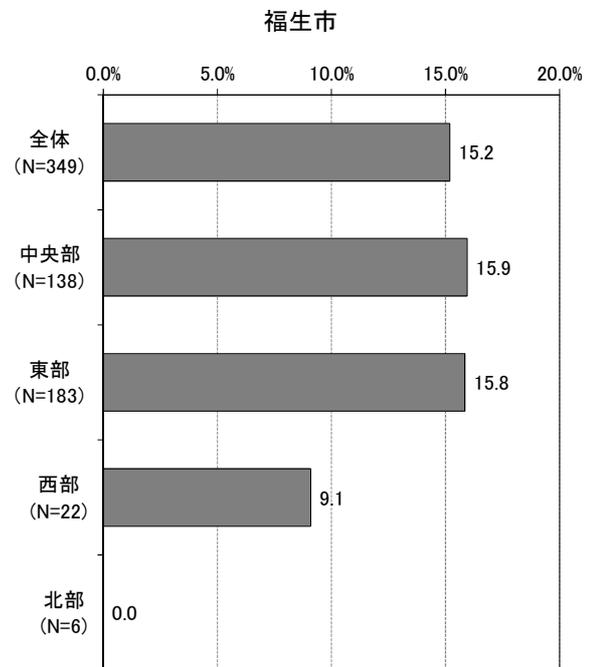
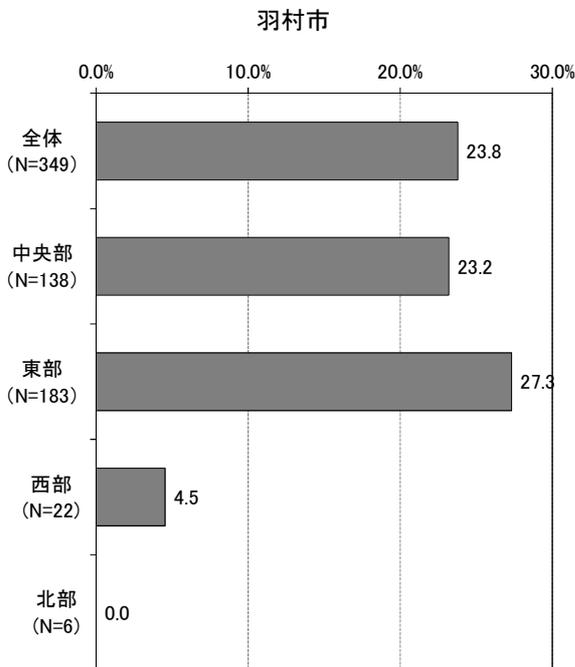
全体の上位4項目について地域別に比較したところ、「住宅購入費・賃料が手ごろだったから」に関しては西部が40.9%で最も多く、北部が36.2%で続きます。「緑・水辺などの自然環境がよいから」に関しては、サンプル数が少ないですが、「北部」が66.7%で最も多く、西武が50.0%で続きます。「親や子どもの近くに住みたいから」では西部が40.9%で特に多く、「通勤・通学に都合がよいから」では東部が24.6%で特に多いです。



【地域別にみた青梅市を選んだ理由(上位4項目)】

問10 引っ越し先を選択する際、青梅市以外にどの自治体が候補に挙がりましたか。  
(○はあてはまるものすべて)

全体の上位4項目について地域別に比較したところ、「羽村市」に関しては東部が最も多く、「昭島市」「立川市」に関しては中央部が最も多いです。



問11 青梅市にお住まいになって、次の項目についてどのように思っていますか。  
(○は各項目で1つだけ)

各項目の平均スコアを地域別にみると、「買い物などの日常生活の利便性」「交通の利便性」「病院などの医療体制」「子育て支援」「高齢者や障害者等のための福祉」「道路・下水道などインフラ整備」「街並みや公園などの街の雰囲気」などにおいて、中央部・東部に比べて、西部・北部のスコアが低いです。

項目	買い物などの日常生活の利便性	交通の利便性	地域コミュニティ・近所づきあい	住宅条件（広さ・日当たり・家賃など）	病院などの医療体制
全体(N=349)	0.22	0.06	-0.02	0.35	0.18
中央部(N=138)	0.21	0.24	0.00	0.36	0.24
東部(N=183)	0.26	-0.02	-0.05	0.34	0.18
西部(N=22)	0.00	-0.23	0.00	0.39	-0.07
北部(N=6)	-0.18	-0.55	0.09	0.45	-0.17

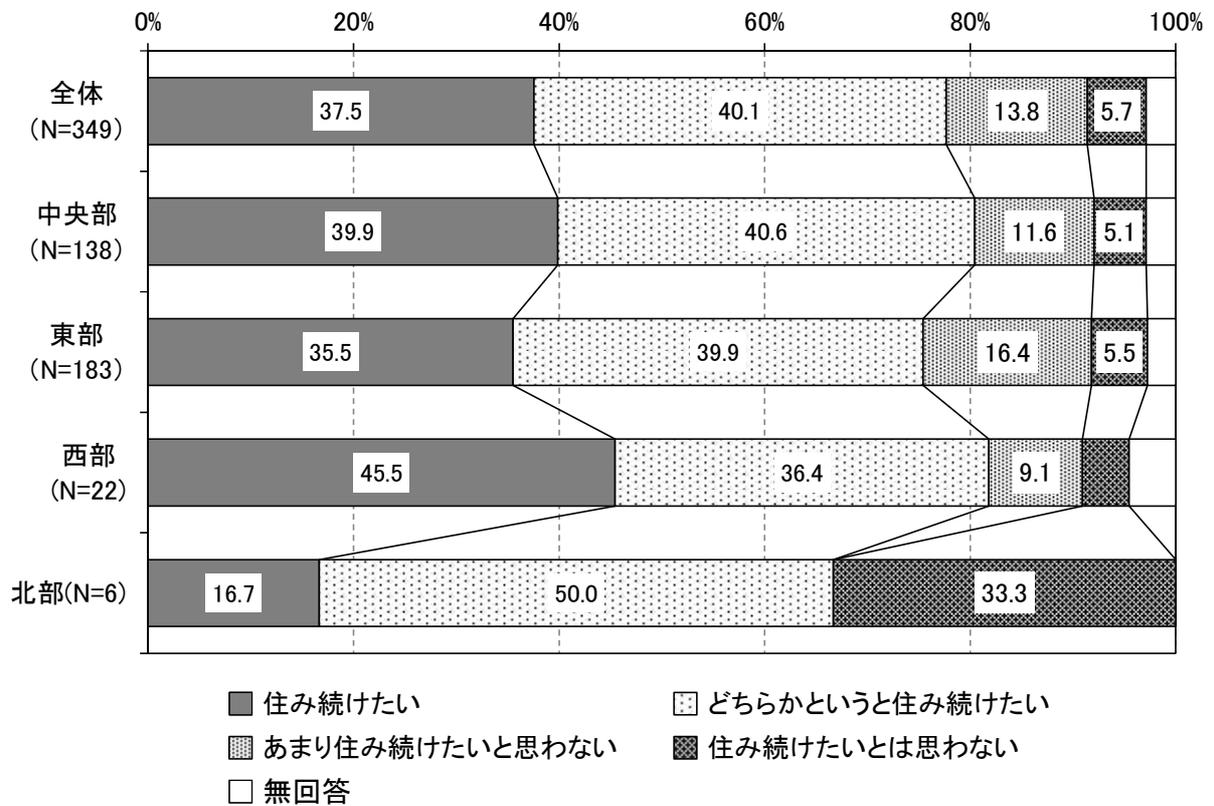
項目	子育て支援	教育環境	高齢者や障害者等のための福祉	緑・水辺などの自然環境	商業や工業などの産業
全体(N=349)	0.00	0.01	0.07	0.51	-0.03
中央部(N=138)	0.02	0.03	0.13	0.51	-0.02
東部(N=183)	0.00	0.00	0.04	0.49	-0.02
西部(N=22)	-0.08	0.00	-0.05	0.67	-0.19
北部(N=6)	-0.11	-0.33	-0.08	0.45	-0.18

項目	道路・下水道などインフラ整備	街並みや公園などの街の雰囲気	街の安全・安心（防犯・防災）	図書館・美術館などの文化施設	スポーツ環境
全体(N=349)	0.23	0.30	0.25	0.20	0.08
中央部(N=138)	0.25	0.32	0.28	0.29	0.15
東部(N=183)	0.26	0.33	0.25	0.16	0.05
西部(N=22)	0.02	0.09	0.16	-0.02	0.00
北部(N=6)	-0.36	-0.09	-0.09	0.00	0.00

【地域別にみた各項目の平均スコア】

問12 将来的に、青梅市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

地域別にみると、「住み続けたい」は西部で最も多く、中央部・東部も3割半ばですが、北部は16.7%で特に少ないです。「どちらかというに住み続けたい」を合わせると、北部も6割を超えます。



【地域別にみた定住意識】